

2012年3月期 第2四半期決算説明会



ZeeM

 FUDEMAME

SmartStage
Design the next ICT style

株式会社クレオ
2011年11月16日



決算概要

2012年3月期第2四半期(累計) 決算概要

(百万円)	2011/3期 第2四半期累計	2012/3期 第2四半期累計	増減額 前年比	2012/3期 第2四半期 累計計画値
売上	4,389	4,650	5.9%	4,900
営業利益	△148	187	—	20
経常利益	△135	192	—	20
四半期純利益	△341	204	—	10

連結業績

- 売上は前年に比べ増加したが、震災の影響などによる受注不足により計画値に届かず
- 営業利益、経常利益は、2011年4月1日より会社分社化を実施し、各社事業の業務効率化等による収益性の向上に努めた結果、予想を上回る
- 四半期純利益は、ソフトウェア臨時償却に伴う特別損失が発生したが、本社移転に伴う補償等立退料を特別利益に計上した事により、増加

会社分割によるセグメントの変更について

・旧セグメント

<モバイル事業>

株式会社クレオ モバイル事業

<システム開発事業>

株式会社クレオ システム開発事業部
ソリューション事業部
関西システム事業部

<ZeeM事業>

株式会社クレオ トヨタビジネス推進室
プロダクト事業部
マーケティング統括部
ICTサービス事業部

株式会社クレオ ネットワークス

<コンシューマ事業>

株式会社クレオ 筆まめサービス事業部

<サポート&サービス事業>

株式会社クリエイトラボ
株式会社ヒューマン・ネットワーク

・新セグメント

<クレオソリューション事業>

<クレオマーケティング事業>

※旧クレオの管理系部門も含む

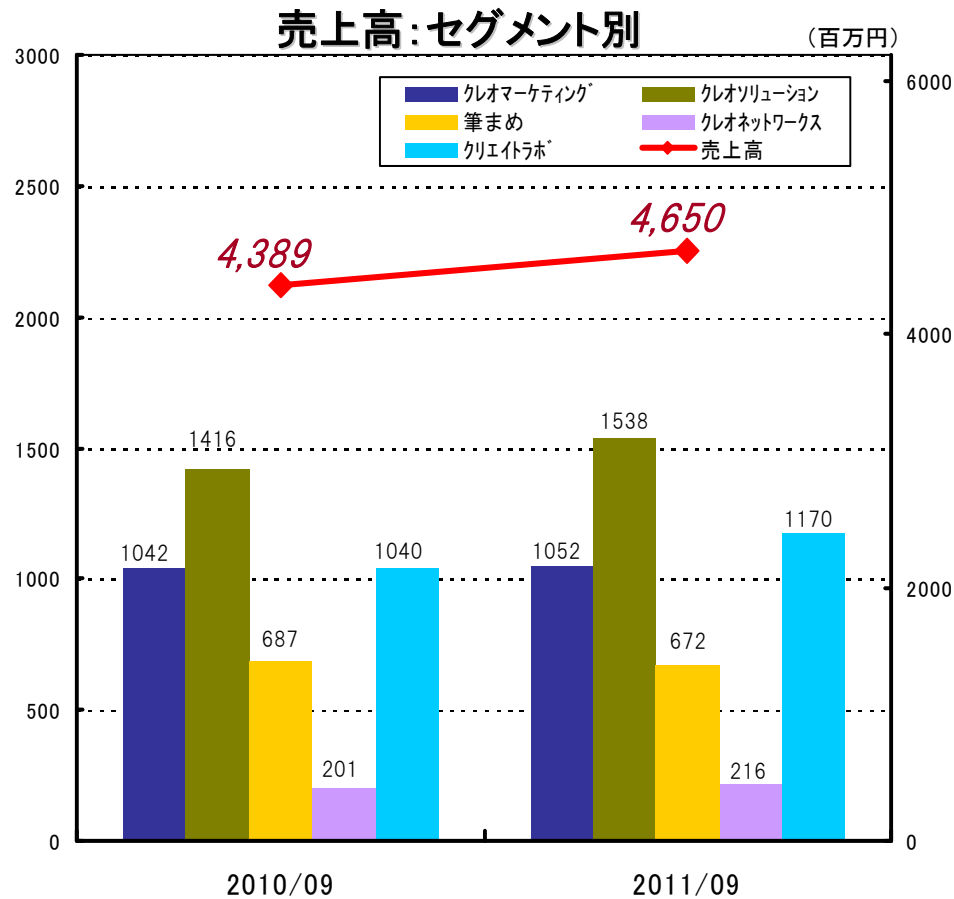
<クレオネットワークス事業>

<筆まめ事業>

<クリエイトラボ事業>



2012年3月期第2四半期(累計) 決算の概要(売上)



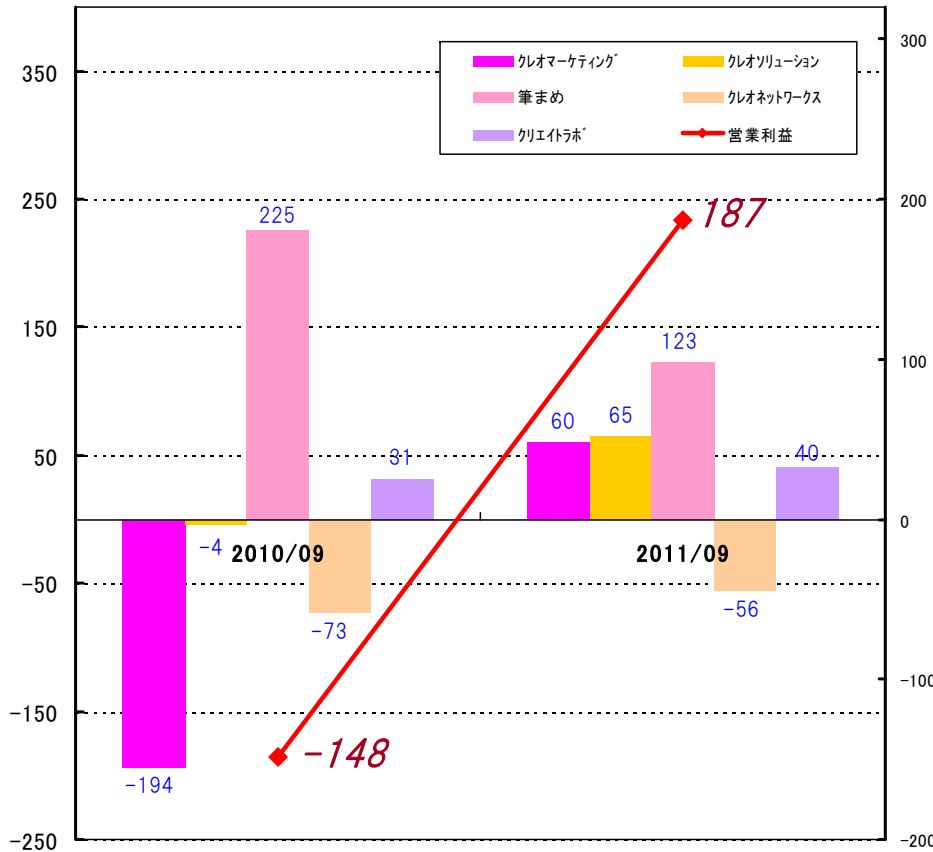
四半期別売上高

	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q
10/3	1,893	2,701	2,359	2,564
11/3	1,816	2,573	2,410	2,697
12/3	1,988	2661	—	—

	2011/3期 第2四半期 累計	2012/3期 第2四半期 累計	増減額	増減率
クレオ マーケティング	1,042	1,052	9	0.9%
クレオ ソリューション	1,416	1,538	121	8.6%
筆まめ	687	672	△15	△2.2%
クレオ ネットワークス	201	216	14	7.2%
クリエイティブ	1,040	1,170	130	12.5%
連結合計	4,389	4,650	260	5.9%

2012年3月期第2四半期(累計) 決算の概要(営業利益)

営業利益:セグメント別 (百万円)



四半期別営業利益

	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q
10/3	-285	242	-35	140
11/3	-309	161	-53	231
12/3	-78	265	—	—

	2011/3期 第2四半期 累計	2012/3期 第2四半期 累計	増減額	増減率
クレオ マーケティング	△194	60	254	—
クレオ ソリューション	△4	65	69	—
筆まめ	225	123	△102	△45.2%
クレオ ネットワークス	△73	△56	17	—
クリエイトラボ	31	40	9	28.6%
連結合計	△148	187	335	—

2012年3月期第2四半期(累計) 損益計算書の概要

〔百万円未満は切り捨て〕

主な科目	2011/9末			2010/9末	
	金額	構成比	増減	金額	構成比
売上高	4,650	100.0%	261	4,389	100.0%
営業費用	4,463		△74	4,537	
営業利益 (△は営業損失)	187	4.0%	335	△148	-3.4%
営業外損益	4		△8	12	
経常利益 (△は経常損失)	192	4.1%	327	△135	-3.1%
特別利益	159		159	0	
特別損失	53		△133	186	
税引前四半期純利益 (△は税引前四半期純損失)	298	6.4%	620	△322	-7.3%
法人税等	93		74	19	
少数株主利益 (控除)	0		0	0	
四半期純利益 (△は四半期純損失)	204	4.4%	545	△341	-7.8%

増減ポイント

<売上高> <営業損益>

「決算の概要」の通り

<特別利益>

本社移転に伴う補償等立退料による

<特別損失>

ソフトウェア臨時償却費の計上による

2012年3月期第2四半期 貸借対照表の概要①

〔百万円未満は切り捨て〕

主な科目	2011/9末			2011/3末	
	金額	構成比	増減	金額	構成比
資産合計	6,099	100.0%	361	5,738	100.0%
流動資産	5,351	87.7%	499	4,852	84.6%
現金・預金	2,567		72	2,495	
受取手形及び売掛金	2,086		165	1,921	
棚卸資産	383		123	260	
その他	316		137	179	
貸倒引当金	△3		1	△4	
固定資産	748	12.3%	△137	885	15.4%
有形固定資産	151		△3	154	
無形固定資産	354		△49	403	
のれん	24		△24	48	
その他	329		△25	354	
投資等	242		△85	327	

増減ポイント

<流動資産>

・現金及び預金:

主に3月検収による増加

・受取手形及び売掛金:

筆まめの出荷に伴う売掛金による増加

・棚卸資産:

クレオマーケ事業、クレオソリューション事業の仕掛増加

2012年3月期第2四半期 貸借対照表の概要②

〔百万円未満は切り捨て〕

主な科目	2011/9末			2011/3末	
	金額	構成比	増減	金額	構成比
負債合計	1,990	32.6%	154	1,836	32.0%
流動負債	1,908		181	1,727	
買掛金	348		38	310	
未払金および未払費用	474		△143	617	
その他	1,086		286	800	
固定負債	82		△27	109	
純資産合計	4,108	67.5%	207	3,901	68.0%
資本金	3,149		0	3,149	
資本剰余金	743		△685	1,428	
利益剰余金	331		888	△557	
自己株式	△122		0	△122	
株式等評価差額金	0		0	0	
少数株主持分	6		2	4	
負債純資産合計	6,099	100%	361	5,738	100%

増減ポイント

<流動負債>

・未払金および未払費用:

前期末分社化に伴う移転関連の支払による減少

・その他:

筆まめ出荷に伴う返品調整

引当金及び未払法人税等計上による増加

<固定負債>

・その他:

本社ビル移転に伴い資産除去債務取崩

<資本剰余金>

第38回定時株主総会承認による利益剰余金欠損填補による取崩

2012年3月期第2四半期(累計) キャッシュフロー計算書の概要

〔百万円未満は切り捨て〕

区 分	2011/9末		2010/9末
	金額	増減	金額
営業活動 C F	290	554	△264
税金等調整前四半期純利益	298	620	△322
減価償却費	152	15	137
売上債権の増減額 (増加: △)	△164	170	△334
たな卸資産の増減額 (増加: △)	△123	△62	△61
仕入債務の増減額 (減少: △)	37	△81	118
その他	90	△108	198
投資活動 C F	△213	△362	149
有形固定資産の取得	△89	△88	△1
無形固定資産の取得	△147	△8	△139
定期預金の預入/払戻	0	△290	290
その他	23	24	△1
財務活動 C F	△5	△12	7
短期借入れによる収入	20	△20	40
短期借入れの返済による支出	△20	25	△45
その他	△5	△17	12
現金及び現金同等物の期末残高	2,557	685	1,872
3ヶ月超の定期預金残高	10	△230	240
現金及び預金	2,567	455	2,112

増減ポイント

<営業活動キャッシュフロー>

- ・四半期純利益の発生及び
売上債権の増減額の減少により
営業CFが増加

<投資活動キャッシュフロー>

- ・有形及び無形固定資産の取得に
よる支出の増加

2012年3月期の計画

(百万円)	2012/3期 第2四半期累計	2012/3期 第2四半期 累計計画値	2011/3期 通期	2012/3期 通期	
				計画値	前期比
売上	4,650	4,900	9,497	10,000	5.3%
営業利益	187	20	29	150	413.1%
経常利益	192	20	42	150	250.2%
当期純利益	204	10	△339	200	—

■通期見直し（2011年11月4日修正）

- ・通期業績予想「売上」に関しては、震災の影響などによる上期の受注状況などを踏まえ、当初の計画値10,400百万円より10,000百万円に減少修正
- ・通期業績予想「営業利益・経常利益」に関しては、筆まめ事業を上期は保守的に計画したが、下期に想定していた利益を上期に計上した関係もあり、計画値は据え置き
- ・通期業績予想「当期純利益」に関しては、上期に移転に伴う補償等立退料を計上した事により、100百万円から200百万円に増加修正



事業の概況

セグメント毎の概況

クレオマーケティング事業

- 上期は、ZeeM「人事給与」「会計」「人材開発」「就業管理」を中心に売上・利益共に順調に推移した。
- 利益は昨年度発生した不採算プロジェクトの反省を踏まえ、体制変更・製品品質強化をした結果、大幅に改善となった。
- 下期は、この流れを維持し引き続き売上増・利益増を目指す。

クレオソリューション事業

- 上期は、新会社設立に伴う、教育の強化、プロジェクト進捗管理体制の変更等により、不採算プロジェクトの発生を防ぐ事ができた。
- 受注も、計画に沿った形で推移し、上期の結果として、ほぼ計画値通りとなった。
- 下期も、不採算プロジェクトの発生に注意を払い、新規顧客獲得と既存顧客との連携強化を図る。

筆まめ事業

- 筆まめ（はがき・住所録ソフト）
新製品Ver.22シリーズを9月2日発売、前年並みの出荷達成。
実売状況は、震災の影響による買い控えなど、前年を下回って推移。
- プロアトラス（電子地図ソフト）
新製品SV7シリーズを7月29日発売。昨年に引続き年間シェアトップを目指す。

セグメント毎の概況

クレオネットワークス事業

- 新サービスブランド ビジネス基盤サービス「SmartStage」を8月24日に発売開始。
今後は、主力の2サービス(SmartStage BizPlatform、SmartStage N-CLOUD)を中心に受注を増やす。
- 受託請負案件にて不採算プロジェクトが発生した事により、利益面で伸び悩む結果となった。

クリエイラボ事業

- 昨年度より続いている、顧客内製化の大きな流れは変わらず、新規案件より既存案件の拡大が多かった。
この流れに対処すべく、社員教育を強化し個々人のスキルを向上し、今後の受注増につなげる。
- 関西系の体制も強化、来期以降の受注増に期待。

その他

- 12月5日にクレオ、クレオマーケティング、クレオネットワークスが港区高輪から港区港南に本社移転決定。

【ご参考】リリース一覧(2011年4月～2011年6月)

赤字: 主なIR 青字: 主なプレスリリース

4月	<ul style="list-style-type: none">・会社分割および持株会社制発足・「筆まめVer.21夏版」2011年4月15日(金)発売
5月	<ul style="list-style-type: none">・「筆まめonline写真プリント」L判料金半額キャンペーン開催・クレオマーケティングとディーバ協業発表・東映グループ、「ZeeM 人事給与」による人事給与業務統合を実現
6月	<ul style="list-style-type: none">・オートリブ、人事給与業務基盤として「ZeeM 人事給与」を導入・「プロアトラスSV7」2011年7月29日(金)発売

【ご参考】リリース一覧(2011年7月～2011年9月)

赤字: 主なIR 青字: 主なプレスリリース

7月	<ul style="list-style-type: none">・ガスター、業務基盤として「ZeeM人事給与」「ZeeM会計」を導入
8月	<ul style="list-style-type: none">・『筆まめVer.22』2011年9月2日(金)発売・『筆まめ純正デザイン集2012年版』2011年9月2日(金)発売・『筆まめおつきあい帳3』2011年9月2日(金)発売・『筆まめPOP & DM』2011年9月2日(金)発売・「筆まめ」シリーズイメージキャラクターに優香さんを起用・ビジネス基盤サービス「SmartStage」シリーズを発売開始
9月	<ul style="list-style-type: none">・『筆まめSelect2012』『筆まめSelect2012 年賀編』 2011年9月2日(金)発売・本社移転および本社移転に伴う特別利益の発生に関するお知らせ

—ご清聴ありがとうございました—



<IR窓口> 株式会社クレオ 広報IRグループ : TEL03-3445-3500

本資料に記載される見通し、今後の予測、戦略などに関する情報は、本資料作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲でなした判断に基づくものです。しかしながら、現実には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生等により、本資料記載の見通しとは異なる結果を生じるリスクを含んでおります。

当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めて参りますが、本資料記載の見通しのみ全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控え下さるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であっても、本資料を無断で複写・複製、または転送などを行わないようにお願いします。